

資料 3

建築・都市整備・道路委員会
平成 29 年 2 月 20 日
道 路 局

相模鉄道本線（星川駅～天王町駅） 連続立体交差事業について【報告】

1 概要

相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業は、平成 14 年度の事業着手以降、14 年の歳月を経て、29 年 3 月 5 日に下り線を高架化し、30 年の秋に全線を高架化する予定で工事を進めています。

このたび、労務費、材料費の上昇、天王町駅部の追加工事等及び星川駅部の施工方法変更のため、事業費の増額を行います。

2 事業費の増額

総事業費 465 億円を、85 億円増額し、550 億円とします。

	現在	変更	増額
事業費	465 億円	<u>550 億円</u>	<u>85 億円</u>

< 増額理由 >

項目	内容	金額
労務費・材料費の上昇	東日本大震災の復興需要や東京 2020 大会の開催決定などによる労務費・材料費の上昇 《内訳》 ①労務費： <u>31 億円</u> ②材料費： <u>9 億円</u>	40 億円
地下構造物の撤去と軟弱地盤対策の追加工事等	天王町駅部の工事において、残置されていた旧河川護岸や旧駅舎基礎の撤去工事及び軟弱地盤対策として必要な地盤改良工事等を追加	24 億円
施工方法の変更	星川駅周辺への騒音等の環境対策として、夜間工事期間を短縮する必要があるため、上り線部分の施工方法を変更	21 億円
合 計		<u>85 億円</u>

裏面あり

相鉄線（星川駅～天王町駅）の下り線を高架橋へ切り替えます

相模鉄道本線（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業は、平成 14 年度の事業着手以降、14 年の歳月を経て、平成 29 年 3 月 5 日に下り線を高架化することになりました。下り線の高架化後は、平成 30 年秋の全線高架化を目指し工事を進めていきます。

平成 29 年 3 月 4 日（土）の最終電車から翌 5 日（日）の始発電車までの間に、地上部の下り線を高架橋へ切り替えます。

下り線が高架化されると、高架区間内の踏切の遮断時間が 3 割から 4 割程度減少し、交通渋滞の緩和、踏切利用者の快適性の向上など大きな効果が期待できます。

なお、荒天の場合は、翌週の 3 月 11 日（土）～12 日（日）に変更します。



【参考】今後のスケジュール

平成 30 年秋の全線高架化後、既存線路の撤去、星川駅、天王町駅の改築工事、周辺道路の整備を進めていきます。

現地での取材を希望される場合は、2 月 28 日（火）までに下記の間合せ先へご連絡ください。

お問合せ先

道路局企画課 鉄道交差調整担当課長 上田 祐一郎 Tel 045-671-2757